

故きを温ねて新しきを知る

～歴史、戦争遺跡、仲間と共に心で感じて～

1年生の皆さんの記念すべき、おおぐろの森中学校
第1回入学式から早いもので2か月がたちました。
すっかり中学生の顔になり、明るく挨拶をかわす姿
を見ると心が和み、ほほえましくなります。

いよいよ、中学校で初めての校外学習です。佐倉市
は千葉県の中でも流山と同様、歴史ある街であり、城
下町の町並みは日本遺産に認定されています。また、
佐倉順天堂を中心に蘭学の先進地であり「西の長崎、
東の佐倉」と呼ばれた西洋医学の街でもあります。

皆さんが今現在、安心して便利に生活できているの
は、多くの先人の方々の知恵や苦勞、歴史が生かされて
いることはいまでもありません。この校外学習で
「昔はどうだったか」ということを探求して、心で感
じて、そこから今後へのヒントを得ること。まさに論
語にある「温故知新」の学習ではないかと思っていま
す。

現在、ロシアによるウクライナ侵攻が世界的な問題
となり、連日報道されています。この問題を皆さんは
どのように捉えているでしょうか。佐倉市は戦争遺跡
があり、戦争について深く考えるきっかけにもなるの
ではないかと考えています。

皆さんが作ったスローガン「歴史とつながり、友情
はぐくむ校外学習」を胸に歴史を学び、戦争・平和に
ついて深く考え、友達の良いところをたくさん見つけて、友
情を深めていける行事となることを願っています。

前川 秀幸